

# 欧州ハイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし) (愛称：ユーロ・スピリッツ) 追加型投信／海外／債券

## ～欧州ハイールド債券のご紹介～ 2014年8月

平素は「欧州ハイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)(愛称：ユーロ・スピリッツ)」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドが組入れるハイールド債券は、信用力が低い一方で、高い利回りが期待できるという特徴があるため、皆さまに馴染みのない中小企業ばかりがハイールド債券を発行しているのではないかというイメージをお持ちの方も多いことかと思えます。しかし中には、大企業も資金調達の一手段としてハイールド債券を発行しています。当資料ではそのような観点に着目し、組入れ下位の銘柄も含め様々な業種にわたり、ハイールド債券を発行している企業の一部をご紹介します。

### ファンドの特色

- 1 ユーロ建てのハイールド債券を実質的な主要投資対象とします。**  
■主として円建外国投資信託への投資を通じて、ユーロ建てのハイールド債券等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
- 2 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つがあります。**  
■「為替ヘッジあり」は、原則として投資する外国投資信託において為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。  
■「為替ヘッジなし」は、原則として為替ヘッジを行わないため、為替相場の変動による影響を受けます。
- 3 原則として、毎月13日に分配を行います。**  
■原則として、毎月13日(休業日の場合は翌営業日)に、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
- 4 投資信託証券への運用の指図に関する権限をユービーエス・グローバル・アセット・マネジメント株式会社に委託します。**  
(注)運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

市況動向および資金動向により、上記のような運用が行えない場合があります。

### 組入上位銘柄のご紹介(2014年6月末前営業日基準)

下記は、当ファンドが投資する「ユーロ・ハイールド・ボンド・ファンド」の運用状況です。

(債券組入銘柄数：384銘柄)

	銘柄	クーポン	償還日	国	業種	格付	組入比率
1	HEIDELBERGCEMENT FIN LUX	7.500%	2020/04/03	ドイツ	素材	BB+	1.23%
2	ALTICE SA	7.250%	2022/05/15	ルクセンブルグ	メディア	B-	1.11%
3	ARDAGH PKG FIN/HLDGS USA	4.250%	2022/01/15	アイルランド	資本財	B+	1.08%
4	TRIONISTA TOPCO GMBH	6.875%	2021/04/30	ドイツ	サービス	CCC+	1.01%
5	FIAT FINANCE & TRADE	6.750%	2019/10/14	イタリア	自動車	B+	0.97%
6	WENDEL SA	5.875%	2019/09/17	フランス	資本財	BB+	0.97%
7	WIND ACQUISITION FIN SA	4.000%	2020/07/15	イタリア	通信	BB-	0.91%
8	EDP FINANCE BV	4.875%	2020/09/14	ポルトガル	公益	BB+	0.89%
9	WIND ACQUISITION FIN SA	7.000%	2021/04/23	イタリア	通信	B-	0.87%
10	UNITYMEDIA KABELBW GMBH	9.500%	2021/03/15	ドイツ	メディア	B-	0.86%

■国名は、発行体企業のビジネス状況の実態を考慮したUBS社独自の判断により分類したものです。■業種はBofAメリルリンチの業種区分に基づいていますが、一部UBS社の判断に基づき分類したものが含まれます。■格付は、当ファンドで組み入れている銘柄の格付であり、S&P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社の3社の格付の平均を採用しています。上記3社の格付を取得していない場合は、UBS社が独自に判断したものです。■組入比率は実質組入債券評価額に対する割合です。

■上記は過去の実績です。本見通しなしい分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

# 欧州ハイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし) (愛称：ユーロ・スピリッツ)

## 上位組入れ銘柄

### ①ハイデルベルグセメント（ドイツ）

格付：BB+

- セメントやコンクリートなどの建築資材において世界最大級のセメント・メーカーの1つであり、セメントメジャーの一角。
- 欧州、北米、アジア、オーストラリア、アフリカなど世界40か国以上で事業を展開。5万人を超える従業員と2,500以上の拠点を有しています。

	ハイデルベルグセメント	太平洋セメント
創業／設立	1873年	1881年
従業員数	約5万人	約1.4万人
事業拠点の展開国数	40か国以上	10か国
売上	約2.0兆円	約0.8兆円



・2013年12月末の1ユーロ＝144.73円で円換算しています。  
・ハイデルベルグセメントは2013年12月期、太平洋セメントは2014年3月期の売上を記載しています。

### ②フィアット ファイナンス&トレード（イタリア）

格付：B+

- イタリアを代表する老舗自動車メーカーであるフィアットの金融統括会社です。
- フィアットは、大衆車からフェラーリ、マセラティなどの高級車まで幅広い商品ラインナップを持ち、2014年にはクライスラーを経営統合。約23万人の従業員を擁しています。

	フィアット	トヨタ
創業／設立	1899年	1937年
従業員数	約23万人	約34万人
販売国／地域	150か国	160か国以上
自動車販売台数	約440万台	約1,013万台



・フィアットは2013年12月期、トヨタは2014年3月期の、グループ企業を含めた販売台数を記載しています。

(出所) ブルームバーグ社、各社HPのデータより三菱UFJ投信作成

**上記は、特定の銘柄の価格変動等の示唆・保証、または推奨を目的とするものではありません。**

- ・上記は2014年6月末前営業日基準でファンドに組み入れられている銘柄について、業種分類をもとに、運用委託先であるUBSが選定した企業を掲載しています。対比している日本企業は、各欧州企業に対応する業種において、時価総額の大きい企業を記載しています。
- ・なお、各銘柄のコメントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ・格付は、当ファンドで組み入れている銘柄の格付であり、S&P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社の3社の格付の平均を採用しています。左記3社の格付を取得していない場合は、UBS社が独自に判断したものです。
- ・上記の従業員数および事業拠点の展開国数、販売国／地域は、資料作成時点で取得可能な直近の値を表示しております。

■上記は過去の実績です。本見通ししない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

# 欧州ハイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし) (愛称：ユーロ・スピリッツ)

## 上位組入れ外の銘柄

### ③テレフォニカ（スペイン）

格付：BB+

- 株式時価総額や顧客数において、世界有数の通信会社です。買収を通じて、他の欧州諸国やラテンアメリカへも事業を拡大。欧州では、2位の売上を誇ります。
- 子会社を通じて欧州や、ラテンアメリカの24か国においてビジネスを展開し、3億人以上の顧客に携帯電話や固定電話、テレビ、インターネットなどのサービスを提供しています。

	テレフォニカ	NTT
創業／設立	1924年	1985年
従業員数	約13万人	約24万人
事業拠点の展開国数	24か国	79か国
売上	約8.3兆円	約10.9兆円

・2013年12月末の1ユーロ＝144.73円にて円換算しています。  
・テレフォニカは2013年12月期、NTTは2014年3月期の売上を記載しています。



### ④アルセロール・ミタル（ルクセンブルク）

格付：BB+

- 世界最大級の鉄鋼メーカー。企業買収を通じて事業を拡大。欧州、アフリカ、北米、南米の世界60か国で約23万人の従業員を擁し、幅広く事業を展開。
- 同社は将来の成長性が期待できるブラジルとインドに注力しています。

	アルセロール・ミタル	新日鐵住金
創業／設立	1976年	1950年
従業員数	約23万人	約8万人
事業拠点の展開国数	60か国	15か国
売上	約8.4兆円	約5.5兆円

・2013年12月末の1米ドル＝105.31円にて円換算しています。  
・アルセロール・ミタルは2013年12月期、新日鐵住金は2014年3月期の売上を記載しています。



(出所) ブルームバーグ社、各社HPのデータより三菱UFJ投信作成

**上記は、特定の銘柄の価格変動等の示唆・保証、または推奨を目的とするものではありません。**

- ・上記は2014年6月末前営業日基準でファンドに組み入れられている銘柄について、業種分類をもとに、運用委託先であるUBSが選定した企業を掲載しています。対比している日本企業は、各欧州企業に対応する業種において、時価総額の大きい企業を記載しています。なお、各銘柄のコメントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- ・格付は、当ファンドで組み入れている銘柄の格付であり、S&P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社の3社の格付の平均を採用しています。左記3社の格付を取得していない場合は、UBS社が独自に判断したものです。
- ・上記の従業員数および事業拠点の展開国数は、資料作成時点で取得可能な直近の値を表示しております。

■ 上記は過去の実績です。本見通しのない分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

# 欧州ハイールド債券ファンド(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし) (愛称：ユーロ・スピリッツ)

## ⑤ トーマスクック・ファイナンス (英国)

格付：B

- 1841年に創業、2,000万人を超える顧客を有する世界有数の旅行会社であるトーマスクック・グループの金融子会社です。
- トーマスクック・グループは約27,000人の従業員を擁し、英国を含む欧州で幅広く事業を展開。雑誌、ウェブなど様々な媒体において数多くのアワードを受賞しています。旅行代理店の運営、管理の他に航空機やクルーズ船なども保有しています。

	トーマスクック・グループ	HIS
創業／設立	1841年	1980年
従業員数	約2.7万人	約1.2万人
売上	約1.5兆円	約0.5兆円



・2013年9月末の1ポンド = 159.05円にて円換算しています。  
 ・トーマスクック・グループは2013年9月期、HISは2013年10月期の売上を記載しています。

## ⑥ ストラ・エンソ (フィンランド)

格付：BB

- ストラ・エンソはフィンランドの製紙・製材メーカー。印刷用紙や包装板紙などのビジネスを世界で展開しています。欧州を中心に製品の販売を行い、世界35か国以上で約3万人の従業員を擁しています。
- 同社は中国や南アメリカ等の成長市場に注力しています。

	ストラ・エンソ	王子ホールディングス
創業／設立	1998年	1949年
従業員数	約3万人	約3万人
事業拠点の展開国数	35か国以上	16か国
売上	約1.5兆円	約1.3兆円



・2013年12月末の1ユーロ = 144.73円にて円換算しています。  
 ・ストラ・エンソの創業年は、ストラ社とエンソ社が合併した年を記載しています。  
 ・ストラ・エンソは2013年12月期、王子ホールディングスは2014年3月期の売上を記載しています。

(出所) ブルームバーグ社、各社HPのデータより三菱UFJ投信作成

**上記は、特定の銘柄の価格変動等の示唆・保証、または推奨を目的とするものではありません。**

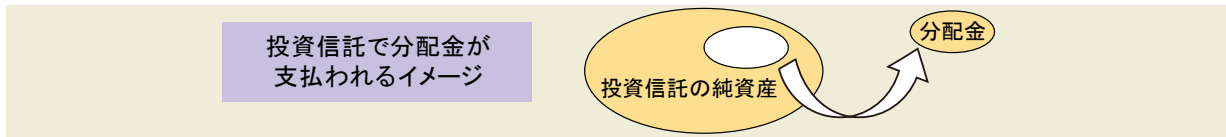
・上記は2014年6月末前営業日基準でファンドに組み入れられている銘柄について、業種分類をもとに、運用委託先であるUBSが選定した企業を掲載しています。対比している日本企業は、各欧州企業に対応する業種において、時価総額の大きい企業を記載しています。  
 なお、各銘柄のコメントは作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。  
 ・格付は、当ファンドで組み入れている銘柄の格付であり、S&P社、Moody's社、フィッチ・レーティングス社の3社の格付の平均を採用しています。左記3社の格付を取得していない場合は、UBS社が独自に判断したものです。  
 ・上記の従業員数および事業拠点の展開国数は、資料作成時点で取得可能な直近の値を表示しております。

■ 上記は過去の実績です。本見通しなし分析は作成時点での見解を示したものであり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

※後記の「当資料のご利用にあたっての注意事項等」をご覧ください。

## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

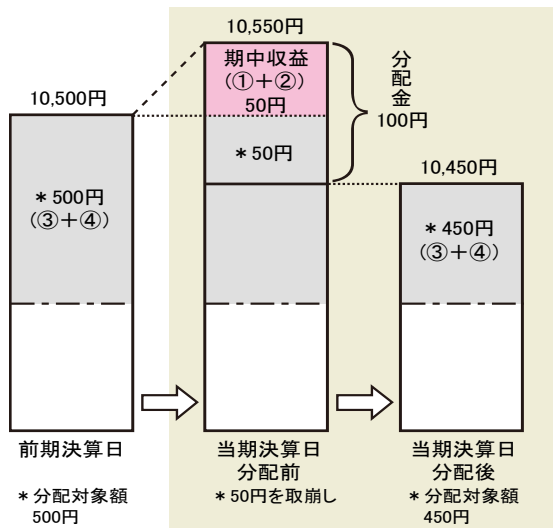


- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

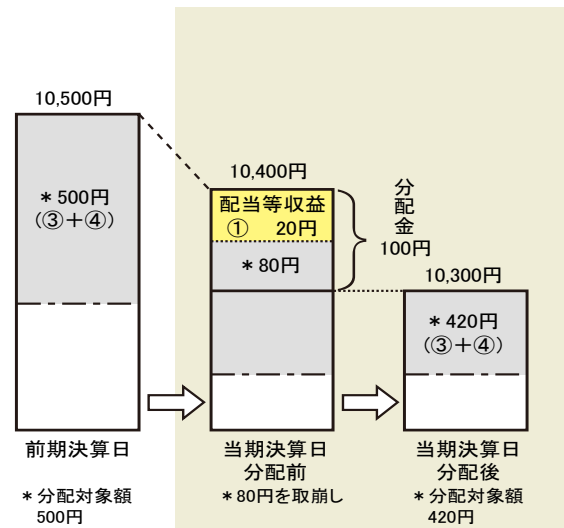
分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。  
分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

(計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合)

(前期決算日から基準価額が上昇した場合)



(前期決算日から基準価額が下落した場合)



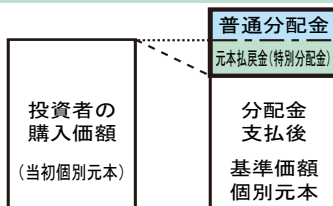
※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

分配準備積立金: 当期の①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益のうち、当期分配金として支払わなかった残りの金額をいいます。信託財産に留保され、次期以降の分配金の支払いに充当できる分配対象額となります。

収益調整金: 追加型投資信託で追加設定が行われることによって、既存の受益者への収益分配可能額が薄まらないようにするために設けられた勘定です。

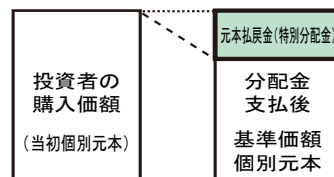
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

(分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合)



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

(分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合)



普通分配金: 個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

(注)普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

**欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)【愛称:ユーロ・スピリッツ】**
**ファンドの目的・特色**
**■ファンドの目的**

ユーロ建てのハイイールド債券を実質的な主要投資対象とし、利子収益の確保および値上がり益の獲得をめざします。

**■ファンドの特色**

- ・欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)は、主として円建外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンドJPYシェアクラスへの投資を通じて、ユーロ建てのハイイールド債券等に実質的な投資を行います。欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)は、主として円建外国投資信託であるユーロ・ハイイールド・ボンド・ファンドEURシェアクラスへの投資を通じて、ユーロ建てのハイイールド債券等に実質的な投資を行います。また、証券投資信託であるマネー・マーケット・マザーファンド(わが国の短期公社債等に投資)への投資も行います。(ファンド・オブ・ファンズ方式)
  - ・\*ファンドが投資対象とするハイイールド債券とは、格付会社(スタンダード・アンド・プアーズ(S&P)、ムーディーズ・インベスターズ・サービス(Moody's)など)によりBB格相当以下の低い格付けを付与された債券をいいます。一般的にハイイールド債券は、投資適格債券(BBB格相当以上)と比較して、債券の元本や利子の支払いが滞ることや、支払われなくなるリスクが高いため、通常、その見返りとして投資適格債券よりも高い利回りを投資家に提供しています。つまり、ハイイールド債券は、主として社債を中心とした低格付けの発行体が発行する債券で、信用力が低い反面、高い利回りが期待できる債券です。
  - ・投資対象とする円建外国投資信託への投資は高位を維持することを基本とします。
  - ・欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)の実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)の実質的な組入外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。
  - ・投資信託証券への運用の指図に関する権限をユービーエス・グローバル・アセット・マネジメント株式会社に委託します。
  - ・為替対応方針の異なる「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つがあります。
  - ・各ファンド間でスイッチングが可能です。なお、スイッチングの際の購入時手数料は、販売会社が定めるものとします。また、換金するファンドに対して税金がかかります。
  - ・販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。
- <主な投資制限>
- ・投資信託証券への投資割合に制限を設けません。
  - ・外貨建資産への直接投資は行いません。
- <分配方針>
- ・毎月13日(休業日の場合は翌営業日)の決算時に収益分配を行います。
  - ・原則として、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配を行います。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、分配金額は運用実績に応じて変動します。将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

**《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》**

委託会社(ファンドの運用の指図等)	三菱UFJ投信株式会社
受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)	三菱UFJ信託銀行株式会社
販売会社(購入・換金の取扱い等)	後記の各照会先でご確認いただけます。

設定・運用	三菱UFJ投信株式会社
金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第404号
加入協会	一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

**欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)【愛称:ユーロ・スピリッツ】**
**投資リスク**
**■基準価額の変動要因**

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元金が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

**市場リスク**
**(価格変動リスク)**

一般に、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、ファンドはその影響を受け組入公社債の価格の下落は基準価額の下落要因となります。

**(為替変動リスク)**

「欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)」

組入外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。為替ヘッジを行う場合で円金利がヘッジ対象通貨建の金利より低いときには、これらの金利差相当分がヘッジコストとなります。

「欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジなし)」

組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を大きく受けます。

**信用リスク**

組入有価証券等の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想された場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等には、当該組入有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払い・償還金の支払いが滞ることがあります。

**流動性リスク**

有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない場合または取引が不可能となる場合、市場実勢から期待される価格より不利な価格での取引となる可能性があります。

ファンドは、格付けの低いハイイールド債券を主要投資対象としており、格付けの高い公社債への投資を行う場合に比べ、市場・信用・流動性の各リスクが大きくなる可能性があります。

**■その他の留意点**

・ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。

**■リスクの管理体制**

ファンドのコンセプトに沿ったリスクの範囲内で運用を行うとともに運用部門から独立した管理担当部署によりリスク運営状況のモニタリング等のリスク管理を行っています。

また、運用委託先で投資リスクに対する管理体制を構築していますが、委託会社においても運用委託先の投資リスクに対する管理体制や管理状況等をモニタリングしています。

**欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)【愛称:ユーロ・スピリッツ】**
**手続・手数料等**
**■お申込みメモ**

購入単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※ファンドの基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
購入代金	販売会社の定める期日までに販売会社指定の方法でお支払いください。
換金単位	販売会社が定める単位 販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込締切時間	原則として、午後3時までに販売会社が受け付けた購入・換金のお申込みを当日のお申込み分とします。
申込不可日	ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休業日、ロンドンの銀行の休業日は、購入・換金のお申込みができません。2014年の該当日は1月20日、2月17日、4月18日、4月21日、5月26日、7月4日、8月25日、9月1日、11月11日、11月27日、12月25日、12月26日です。なお、休業日は変更される場合があります。
換金制限	ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みには制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止および取消し	金融商品取引所等における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止することおよびすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消すことがあります。
信託期間	2021年7月13日まで(2012年6月15日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回るようになった場合、または各ファンドの受益権の口数を合計した口数が30億口を下回るようになった場合等には、信託期間を繰り上げて償還となる場合があります。 なお、投資対象とする外国投資信託が償還する場合には繰上償還となります。
決算日	毎月13日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎月の決算時に分配を行います。 ※販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。



**欧州ハイイールド債券ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)【愛称:ユーロ・スピリッツ】**
**手続・手数料等**
**■ファンドの費用・税金**  
**・ファンドの費用**
**【お客さまには以下の費用をご負担いただきます。】**
**お客さまが直接的に負担する費用**

購入時	
購入時手数料	購入価額× <b>3.24%(税抜 3%)</b> (上限) 販売会社にご確認ください。
換金時	
信託財産留保額	ありません。
お客さまが信託財産で間接的に負担する費用	
保有期間中	
運用管理費用 (信託報酬)	当該ファンド:純資産総額×年1.1988%(税抜 年1.11%) 投資対象とする投資信託証券:年0.58% 実質的な負担: <b>年1.7788%(税込)</b> ※投資対象とする投資信託証券における料率を含めた実質的な料率(上限値)を算出したものです。
その他の費用・ 手数料	売買委託手数料等、監査費用、投資対象とする投資信託証券における諸費用等を信託財産からご負担いただきます。これらの費用は運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。

※運用管理費用(信託報酬)、監査費用は毎日計上され、毎決算時または償還時に信託財産から支払われます。その他の費用・手数料(監査費用を除きます)は、その都度信託財産から支払われます。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料(国内において発生するものに限り)には消費税等相当額が含まれます。

※お客さまにご負担いただく手数料等の合計額は、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

**・購入時手数料に関する留意事項**

お客さまにご負担いただく購入時手数料の具体的な金額例は以下の通りです。下記はあくまでも例示であり、手数料率は販売会社ごとに異なります。また、販売会社によっては金額指定、口数指定どちらかのみのお取扱いになる場合があります。詳しくは、販売会社にご確認ください。

**【金額を指定して購入する場合】**

購入金額に購入時手数料を加えた額が指定金額となるよう購入口数を計算します。例えば、100万円の金額指定でご購入いただく場合、お支払いいただく100万円の中から購入時手数料(税込)をご負担いただきますので、100万円全額が当該ファンドの購入金額となるものではありません。

**【口数を指定して購入する場合】**

～手数料率3.24%(税込)の例～

例えば、基準価額10,000円(1万口当たり)の時に100万口ご購入いただく場合、購入時手数料=(10,000円÷1万口)×100万口×3.24%=32,400円となり、合計1,032,400円をお支払いいただくこととなります。

**・税金**

個人受益者については、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の価額から取得費を控除した利益に対して課税されます。

なお、法人の課税は異なります。また、税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

**当資料のご利用にあたっての注意事項等**

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、貯金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。／販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金に加入していません。／投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。／投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)等の内容を必ずご確認ください。

■当資料は、欧州ハイイールド債券の発行体についてご紹介するために三菱UFJ投信が作成した資料です。／当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。／当資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。／当資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。

■市況動向および資金動向等により、ファンドの基本方針通りの運用が行えない場合があります。

**《ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。》**

お客さま専用  
フリーダイヤル  **0120-151034**  
受付時間/9:00～17:00 (土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

<オフィシャルサイト> <http://www.am.muam.jp/>  
<モバイルサイト> <http://k.m-muam.jp/a/1/3>  
基準価額・分配金をメール配信(\*メール配信対象外ファンドもあります。)



